


所 属	現代社会学部 現代社会学科(子ども生活学専攻)		
主な担当科目	家庭支援論、社会的養護、ジェンダー論など		
	氏 名	山口 季音	
	フリガナ	ヤマグチ キオト	
	職 位	准教授	
	学 位 等	博士(文学)	
研究内容・社会業績等			
<p>《研究内容》</p> <p>(1) 児童養護施設の文化伝達と家庭支援 (2) 男子集団の仲間文化 (3) 暴力とジェンダー</p> <p>以上が主な研究関心です。最近では、児童相談所に関する研究にも携わっています。 より詳しい経歴・研究・社会貢献活動等については、リサーチマップ(http://researchmap.jp/yamaguchi-kioto/)を参照。</p>			
論文・書籍・資格等			
<p>(著書)・共著 『児童相談所の役割と課題 ―ケース記録から読み解く支援・連携・協働―』、東京大学出版会、2020 『保育と社会福祉 第3版』、みらい、2019 『よくわかる家庭支援論 第2版』、ミネルヴァ書房、2015</p> <p>(主な論文)・単著 「児童養護施設の教育に関する一考察 ―施設職員へのインタビュー調査を通して―」 教育科学セミナー(関西大学教育学会)、第50号、2019、43-52頁 「児童養護施設職員の家庭支援を通じた意識変容」 至誠館大学研究紀、第6号、2019、27-37頁 「児童養護施設の自立支援における葛藤 ―子どもへのケアと教育的かかわりに着目して―」 教育学研究紀要(中国四国教育学会)、第63号、2018、733-738頁 「児童養護施設におけるボランティアの意義 ―生涯学習論の視点から―」 関西大学大学院人間科学:社会学・心理学研究、第80号、2014、1-14頁 「児童養護施設職員の職場での意識変容に関する考察 ―成人学習論を手がかりにして―」 教育科学セミナー(関西大学教育学会)、第45号、2014、29-39頁 「『被害者』による暴力の肯定的な受容に関する考察 ―異年齢の生徒集団における『通過儀礼』としての暴力―」 教育社会学研究(日本教育社会学会)、第92集、2013、241-261頁 「児童養護施設の児童集団における暴力と仲間文化 ―施設でのフィールドワークから―」 子ども社会研究(日本子ども社会学会)、第19号、2013、77-89頁</p> <p>(主な論文)・共著 「発達障害児や「気になる子」に関わる新任の幼稚園教諭および保育士の体験」 至誠館大学研究紀要、第5巻、2018、37-49頁 「近代日本における家族の教育戦略に関する一考察 ―旧中間層と新中間層の比較を中心に―」 関西大学文学論集 第65巻、第3・4号合併号、2016、135-163頁 「児童養護施設における暴力の実態 ―A県管轄下の全施設調査から―」 関西大学人権問題研究室紀要、第63巻、2012、99-124頁</p> <p>(資格) 社会福祉士実習演習担当教員講習会(基礎・実習・演習)修了 2015年8月 専門社会調査士 資格(8条規定) 第002041 2014年10月</p> <p>(受賞) 2014年度 日本子ども社会学会研究奨励賞 受賞 2014年6月</p>			
学生へのメッセージ			
<p>大学生活で得られることの中でも、とくに大切なのは「考えるスタミナをつけること」だと思っています。世の中、わからなくて面倒になる場面はたくさんありますが、そこで考え続けられるかどうかは成長の鍵です。一見、自分の人生には関係のない・無駄と思えるようなことでも、考え続けることで、わからなくても考えることをやめない力が身につきます。私自身も、これからみなさんとともに考える力を磨いていけたらと思います。</p>			